

経穴と経絡と健康と超能力との関係についての一考察

気学勉強会主宰 門田 務

人間は現在、動物学的には哺乳類真獣の一員となっていますが、遠い太古を遡って見ますと、ただの元素から始まり、長い年月と、元素と元素の化合、集合、離散で出来上がった物質（アミノ酸など）の働きにより、無機質の物質から有機質の物質が生まれ、最初は原生植物が生まれ、その原生植物が段々と進化して行き、そして原生動物が生まれ、更にそれが進化を遂げ、人間のような高等生物が生まれてきたのです。

このように考えていけば、現在地球に存在している生物すべてに、共通する何かがあると考えるのが自然です。

そのひとつが、例を植物の気孔に取れば、空気中の炭酸ガスを取りこみ、太陽などから放出される赤外線、紫外線等をうまく利用して、炭水化物や脂肪や蛋白質などを作り貯蔵しています。

種子から萌え出てその場所から動かず、根から取り込む雨水で溶け出て、根の付近に来た養分や水分だけの吸収では、何千年の寿命を保つのは不可能だと思われま

それは宇宙や太陽から放出される気（極超微粒子）を取り込み、それを上手に利用する器官が樹内に有ると、考えて良いと思います。

動物でもそれと同じで、例えば野性の動物などは、医者や薬などの世話にならなくても、現在まで種族を絶やす事なく生きています。

人為的に絶滅した動物は例外として、野性の動物は結構長命だと言えます。

人間は肥満して大きい体格を持った者が長命かと言いますと、その反対で名古屋の有名なきんさん、ぎんさんを引き合いに出すまでもなく、例え小さい体格でも、骨と皮で出来上がっているような方が長命を保っています。

この差を科学的に解り易く説明しますと、東洋医学で昔から言われています経穴（ツボ）と経絡に行き当たります。

即ち経穴を開けて、極超微粒子（気）を取り込み、極超微粒子の通り道で有る経絡を大きくする事で、健康となる事は勿論、びっくりするような長命を保つ事が出来るのです。

この経絡の中に取り込まれて、出来上がった極超微粒子が、今世界で研究の対象となっている、超常現象や超能力の源泉で有ると断言出来るのです。

そこで本日の講義は、簡単に誰でも作れる経絡計、一名寿命計の作り方と使い方をお教えします。

また、作るひまの無い方のために若干見本を作って、持って来ていますので御利用下さい。またこの経絡計は、現在患っている病気の箇所とか、これから患おうとしている内臓等をも、計測出来ますので大変便利となっています。

従来の経穴（ツボ）の開け方は、東洋医学的には針灸や按摩や薬草や食べ物などで開けました。

その他にも宗教的にお経を読んだり、祝詞を読んでも開ける事が出来ます。

またその他に、修験者の用いる法螺貝や、普華宗の尺八の吹奏などでも、経穴を開ける事が出来る事が解ります。

これらは、いずれも一種の呼吸法で有ると言えます。

ゆっくりとした呼吸を繰り返す事により、極超微粒子（気）が体内に保留され、それが体内すべてを整備してくれて、健康でいられると共に長命を約束してくれるのです。

これらの宇宙の原理ともいべき事柄が、たった一台の経絡計が教えてくれるのです。

最初にこの機器を作って自分を、そして他人を計測して見た所、病気を持つ人の経絡は殆んど閉じている事が解りましたし、経絡が閉じていると寿命が短いという事もよく解りました。

そこで経絡を現代的に楽に開ける方法として取り上げられたのが、波動機器（EAV）なのです。

数々の予言者が、二十一世紀は波動の学問が主流を占める、と予言されていましたが、まさにその予言の的中の如く、世界各国が薫って波動機器の研究に着手したのです。

本来宇宙に存在する物質すべて、各々固有の振動（波動）を持っています。

人間も例外では無く、おそくゆっくりとした呼吸が習慣的になってきますと、脳波もゆっくりとしたアルファ波からシータ波、デルタ波となってきます。

これらの波長の脳波がいつでも作れる訓練をしていますと、身体は健康で居られると共に、人間的な欲望は徐々に減っていき、その人間の良き思念が、同じ波動を持つ宇宙のエネルギーの協力を得て、その通りに物事を発現させる事が出来るのです。

これを超能力と言わずして、何を超能力と言うべきかとの心境となります。

そこで一番簡便な波動機器（EAV）の作り方を教えますので、自作出来る方は自作して、この機器の効力を試して下さい。

どうしても作る事の出来ない方の為に若干の台数作って来ましたのでご利用下さい。

病気を持つ方や病気になり易い方は、八サイクルあたりの波動を持つ波動機器から始めた方が良いでしょう。

それから徐々に周波数をおそくして行き、ついには宇宙全体を作られた造物主界の波動、二サイクルに挑戦するようにして下さい。

そうでないと直接最初から二サイクルに挑戦しますと、昔から二サイクルは発狂のサイクルと言われるように、普通の人間なら最初は頭痛がし始め、ついには発狂してしまいます。やはりここは順序を踏んで、徐々に周波数を下げて行った方が無難です。

体内に取り込んで保留されていた極超微粒子（気）は、オーラとして超能力者の眼にははっきりと見えますが、一般の人には見え難いと思います。

最近ではオーラ眼鏡なども市販されていますが、簡便なオーラメーターを作って来ましたので、自分のオーラの大きさを計って興じて下さい。

病気を持つ方や寿命の短い方のオーラは、いくらか出て無い事が良く解ります。

しかし今からでもおそく有りませんので、ゆっくりとした呼吸法を会得して、体内に極超微粒子（気）を保留し、病気をしない身体を作ると共に、何時でも超能力が発揮出来るようになって下さい。

以上の講義が今後の生き方の指針となれば、私の喜びとする所で有ります。